

中学部2年生 バケツ稲を育てました

「社会理科」という学習で育てました。理科的などころでは、稲の成長過程が継続観察できました。授業のはじめに、観察を行い、記録用紙に気づいたことをメモするようになっています。稲の高さをメジャーで測定し、気づいたことをまとめたり、発表したりするなど、成長を見守って行くことができました。社会的などころでは、稲の育成から米の収穫までの作業を行うことができ、米の収穫までの流れを体験することができました。特に、生徒たちは、脱穀体験に興味を示し夢中になって取り組みました。

生徒たちの感想

全員「楽しかった。」と感想を発表しました。脱穀作業のあと、「すごいでしょ、すごいでしょ。」と脱穀したばかりの米を袋に入れ、得意気に教員に見せ、作業の内容を教えにきた生徒もいました。以下に紹介します。

- ・「たのしかった。できるだろうかと心配したけど、うまくできた。」
- ・「ものすごくたのしかった。ちょっと苦勞しました。」

もみから米にするまでには大変な作業があることが実感できたようでした。

